

野生スミレの探求

浦安市 岡村博己（大町一丁目出身）

久しぶりに野生のスミレと出合ったのは、今から三十年程前のことでした。場所は雪の消えた六月始めの苗場スキー場でした。実に懐かしく郷愁を感じました。いけない事とは知りながら私が子孫繁栄の手助けをしてやろうと、一株頂いて来ました。その子孫が私の庭で元気にしております。以来取り憑かれた私は園芸種を買い求めたり、行く先々で新種はないかと下を向いて歩いています。嬉しいこととに下を向いて歩くと家の周りでも、時々一人で咲いているのに出くわします。

このあいだは「姫スミレ」（五〜七ミリほどの小さな濃い紫の花）の群生に出会いました。この時の感激は大変なものです。

こんな訳で小さな仕立て鉢を含めると約三百、三十種が私の支配下にあります。そのうち自然交配して新種が出来ないかな〜と期待しながら、せつせと水遣りをして

しております。あるいはどこかで新種に出くわして、名づけ親になりたいというも思っています。

近い将来「Jネット・おかわらスミレ」が図鑑に載ることを信じて頑張っています。

